

# 博 士 論 文 概 要

## 論 文 題 目

中国におけるダム建設による  
非自発移住者の住宅建設に関する調査研究

ON THE HOUSING CONSTRUCTION  
FOR THE RESETTLEMENT DUE TO THE DAM  
CONSTRUCTIONS IN CHINA

## 申 請 者

氏 名

陸	海
Hai	LU

専攻・研究指導  
(課程内のみ)

建設工学専攻 建築計画研究

2 0 0 5 年      9 月

- 研究の背景。中国は 1949 年の建国以来、電力の保証と洪水災害の軽減のためにダムを建設し続けてきた。現在、水力発電は全国の発電量の 24.5% を占め、国の経済発展に大きな役割を果たしている。中国では 1949 年から現在まで、8 万 6 千のダムが建設され、建設による非自発的な移住者数が 1,200 万人を超え、世界中で最も移民が多い国となった。住宅問題をよく解決していないことによる移住後の生活水準低下は移民たちが入居拒否・再び移住前の元居住地に戻る・社会の不安定など深刻な社会問題をもたらす。現段階の中国ダム移民に関する研究は移住の過程中的経済・生産に関する問題に着目したものであり、移民住宅に関する専門的な研究はなかった。従って、中国の移民住宅に関する総合かつ系統的な研究が非常に重要であると考え、本研究に取り組んだ。
- 研究の目的。本研究の目的は移民住宅の現場調査で得た資料に基づいて、代表的であると考えられる移住者安住区域の具体的な移民住宅の実況を分析した上で、中国のダム移民の住宅の状況を総合的に考察し評価することである。
- 研究の方法と調査対象。2003 年 3～4 月、筆者は中国の移民管理・研究機構で理論研究と調査を行い、中国のダム移民の住宅問題に関する研究状況を把握した。移民住宅の実態・データに基づいて研究を行うとすれば、現場に行って自力調査をすることが必要となる。2003 年 8～9 月、山西省、河南省、湖北省、安徽省、浙江省の五つの省で、七つの県の十六の移民団地・集落の現場調査を行った。調査した対象は、建設時期、建設方式、移住方式、経済区域、都市と農村などにおいて様々な状況を呈しているものを選び、中国の移民住宅を研究するために代表的なものである。

本研究の構成は、大きく序論、本論、結論で構成される。

序論では、研究の背景、目的、方法と調査対象を述べ、既往研究の状況を分析し、研究の意義を論説した。

第一章では、中国のダム移民の管理機構の歴史と主な機能を顧み、移民住宅建設の提案から竣工までの一般的なプロセスを分析した。1950 年代初期に成立、1966 年に解散、1985 年に回復という移民管理機構の歴史を述べ、主要機能の全国における大部分の大・中規模の中央直属ダムの移民移住、後期サポート、残留問題の解決について分析した。

第二章では、現地調査で得た資料から中国のダム移民住宅建設の歴史を三段階に分け、それぞれの時期と特徴を分析した。

- ① 1949 年～1957 年。移民政策は“工程優先”が主な指針となった。中央政府は初期の移民に関する規定を制定した。当時は個人財産が少なく、生活水準が非常に低かったため、この時期の移民住宅は基準・品質ともに良くなかったが、移民のそれまでの生活と対応できていたので、残された問題は少なかった。

た。

- ② 1957年～1985年。“大躍進”・“文化大革命”などの政治運動によって、移民管理機構が破壊された。この時期の移民住宅は移民の基本的な生存条件しか満たしていないものであり、移民の生活の便利さや、将来の発展に対する余裕などについては考慮されていなかった。
- ③ 1985年～。この時期を形成することになった契機は1985年のダム移民管理機構の回復である。この時期の移民住宅政策の最大の特徴として挙げられる点は、元来の規模、元来の標準、元来の機能という“三元”を原則として移民住宅を建設するという政策と、土地の統一分配、住宅団地・村落の統一計画、住宅の統一設計、設計の統一審査、実施段階の統一管理という“五統一”の政策の実施である。この段階には、移民住宅の品質と面積、衛生条件などが大きく進歩した。

第三章では、現地調査で明らかにした中国のダム移民住宅建設の幾つの特徴について分析した。

- ① 移民住宅建設の区域特徴。
- ② 都市部と農村部の移民住宅建設の特徴。
- ③ 移住方式による住宅建設の差異。
- ④ 移民住宅の建設方式の特徴。以上の四つの特徴と差異の形成と原因を調査し、各移民住宅村落・団地の状況に基づいて分析した。

第四章では、移民住宅建設に大きな影響を与えた“典型設計”について考察した。“典型設計”とは、各地方の移民管理機構が当地の生活水準と居住水準に基づいて、移民住宅に関する基本的な要求を制定し、建築設計機構に委託して住宅を設計することである。移民管理部門と移民村落・移民代表の審査を受け、最終の実施案が選ばれ、建設管理部門の許可を得て実施される。“典型設計”は政府がより良い品質の移民住宅を建設するために作った政策で、移民住宅建設の基準として存在するものである。現地調査の資料に基づき、典型設計の歴史と実行方式を分析し、典型設計の長所を明らかにした：

- ① 専門的な設計機構で設計されたもので、住宅の安全性・耐久性が向上したこと。
- ② 統一計画・典型設計によって、住宅団地・村落の配置が合理的であること。
- ③ 衛生条件の改善。
- ④ 施工工期の統一性が保証できること。
- ⑤ 建設コストが削減できること。

しかし、施工の段階において“典型設計”が移民によって変更されることが多くあることが現地調査で分かった。移民住宅の品質を高めようという目的で作られた“典型設計”だが、なぜ変更されたのか、その理由と具体的な状況について

分析した。主な理由としていかの三つが挙げられる。

①移住後の職業の変化。②生活水準の向上。③家族構成の変化。この三つの理由を分析した上で、変更の具体的な状況を明らかにした。①基本的な構造と住宅平面のアウトラインは変更されない。②立面に関する変更は少ない。③住宅内の多機能空間に関する変更が激しい。④基本的な機能空間に関する変更は少ない。これらの変更に対して、入居後の評価についてアンケート調査を行い、満足と不満の割合、そしてその理由を明らかにした。

第五章は、移民住宅建設における伝統住宅の保護と継承についての調査結果となる。主としては、三つの方法でダム建設で水没する伝統住宅を保護し継承していることが分かった。

- ① 移民が自力で伝統住宅を模倣し住宅を建設する。
- ② 政府の統一管理で完全再建。この方法は、政府が水没する区域の伝統的な住宅を調査し、重要な住宅を選び、他の場所で完全に再建する方法である。
- ③ 典型設計を通じて伝統住宅の特徴を表現する。1980年代後期から、移民住宅は統一設計された住宅計画に基づいて建設するのが一般的となった。典型設計を通じて伝統住宅の特徴を表現することは幅広く採用されている方法である。

調査した移民住宅村落・団地に基づいて、現在の中国のダム移民住宅の伝統継承の状況を分析し、この三つの方法の長所と問題点を明らかにした。

結論では、各章節の内容をまとめ、中国のダム移民の住宅建設の成果と解決する必要がある問題を総括した。

#### ●中国ダム移民住宅建設の成果

- ① 居住面積の増加。②衛生状況の改善。③構造形式の進歩。④建設管理の強化
- ⑤関連施設の整備。

#### ●中国のダム移民住宅建設の問題点

- ①政策の変化がダム移民の住宅建設に大きな影響を与えている。②中国では移民住宅の政策はまだ独立的・系統的な政策とはなっていない。③地域格差、特に東部と西部、都市と農村の経済的格差が各地方の移民住宅の差異を引き起こしている。④移民住宅は変化している移民事情に対応していない。⑤移民住宅を統一建設するとき、政府がより多くの住宅建設に関する内情を移民に知らせ、政府に対する信頼感を上げていくことが重要である。⑥伝統的な住宅形式の保護と継承に対する意識を高める必要がある。⑦移民住宅の評価基準に多様性をもたせる必要がある。

## 研 究 業 績

種類別	題名、	発表・発行掲載誌名	発表・発行年月	連名者
論文	The Site Investigation of the 13 Zone of the Chinese Dam Resettlement	Journal of Asian Architecture and Building Engineering Vol. 4 (2005) , No. 2 P.293-300	2005.11	Hai LU
論文	中国におけるダム建設による非自発移住者の住宅建設に関する調査研究 その2 典型設計に関する考察	日本建築学会計画系論文集 No. 594 P. 69-76	2005. 8	陸海
論文	中国におけるダム建設による非自発移住者の住宅建設に関する調査研究 その1 段階性と特徴	日本建築学会計画系論文集 No. 588 P. 79-86	2005. 2	陸海
講演	中国におけるダム建設による非自発移住者の住宅政策と建設に関する調査研究 その1 歴史のながれ	日本建築学会大会学術講演梗概集 F-1 分冊, p. 1503	2004. 7	陸海
講演	発展途上国の低所得者の住宅建設と住宅政策に関する研究 その一 中国の住宅現状と低所得者住宅政策に関する研究	日本建築学会関東支部研究発表会研究報告集 P17-21	2003. 2	陸海